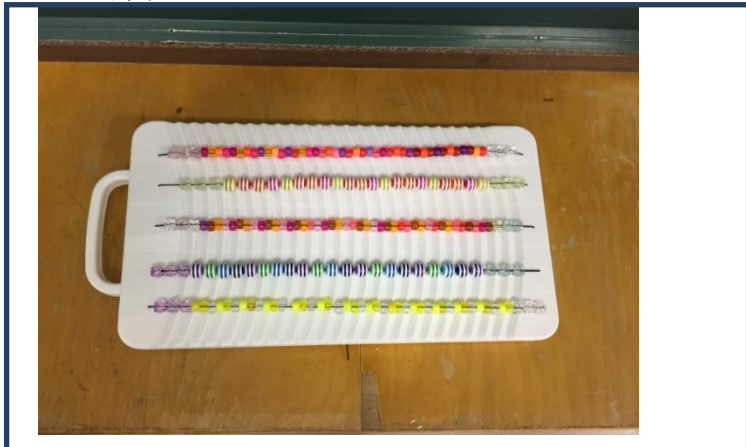


教材・教具名： じゃらじゃら板

製作者： 伊瀬知

主な使用場面・領域・教科等： 音楽（自立活動、あそび・せいかつ）

<図・写真>



<材料・製作方法等>

- 材料
 - ・プラスチック洗濯板
 - ・ゴム紐
 - ・ビーズ以上すべて100円ショップで購入
- 作り方
 - ・洗濯板に紐を通す穴を開ける
 - ・ゴム紐にビーズを通したものを、穴に通して固定する

<ねらい>

- ・「関西発達臨床研究会」編の「ダイソーグッズで簡単に作れる発達支援教材集」を参考に制作。
- ・比較的初期の感覚遊びを好む子供や見ることが困難な子供が、触覚や、触ったものが動いたり音が鳴ったりすることを繰り返し楽しむことで、感覚刺激や感覚運動刺激を豊かにして、手で探る行動や、手の動きと音の関係などに気づくことなどをねらいとした。

<指導方法・留意点等>

- ・自己刺激行動への介入。
- ・1対1でのやりとり遊び。
- ・「音楽」などで、音遊び。
- * 紐で固定してあるが、力の強い子供が引っ張ると紐がちぎれてしまう可能性あり。
- * 紐そのものを取ってしまいたい子供には物足りないかも？

<指導経過・成果・課題・展望等>

- まだ、実際に使用していないが、今後「音楽」や「あそび・生活」の中で活用できたらと考える。
- 比較的少ない動きでも音が鳴るので、手の動かし方が上手でなくても動きと音の因果関係がわかりやすいかもしれない。
ゴム紐を使用しているので、伸縮性があり、引っ張る、つまむなどの動作にも発展できるかも。
- 触刺激や音刺激などを好み、自己刺激的な行動や遊びが多い状態から、ものを介した遊びに広げたり、ものを介してやりとりのきっかけを作ったりしたいときなどにも活用できるのではないかな。

